

## 1. 施設の概要

所在地 茨城県久慈郡大子町大字初原字前ノ沢 294 番地

施設 特別養護老人ホーム 70 名

短期入所生活介護施設 10 名

通所介護施設 15 名

1階：特養ユニット3、老人デイサービス、ショートステイ

2階：特養ユニット4

その他の事業 特別養護老人ホーム あいおんの里羽鳥（平成26年3月現在建築中）

法人Webサイト <http://youkou-kai.or.jp/daigo/gaiyou.html>

## 2. 地域及び施設の特徴

### （地域の特徴）

久慈郡大子町は高齢者世帯が多い。原因としては、地理的に水戸まで離れていることや、農業以外は際立つ産業がないためである。

現在大子町の高齢者率は、35.5%（平成23年）を超えていると言われている。町が平成23年度に実施した「日常生活圏域ニーズ調査」によると、ひとり暮らし高齢者が14.8%、夫婦及び配偶者以外と二人暮らし世帯30.8%で、ひとり暮らしや核家族化が進んでいる。介護を受けている人の



大子町の「袋田の滝」

主な介護者は、65歳以上の高齢者が54.4%となっており、「老老介護」が広がっている実態も明らかになっている。

### （施設の特徴）

今次計画施設は特養ユニット70名、ショート10名、老人デイサービス15名である。

（福）陽康会は、平成24年に設立された。理事長の地元貢献の意識が強く、茨城県の今次計画の公募に応募した。





法人としては、初めての特養であるが、太子町においても初めての特養である。地場産業に乏しいため、やむを得ず水戸や東京に出ていた若い方が太子町に戻っているという側面があった。そのように、利用者に対するだけでなく、若者が働ける環境作りという意味でも、地域貢献ができているといえる。

今回の建物の特徴としては地中熱を利用した冷暖房を利用していることがあげられる。

日照や季節により寒暖の差がある地表と違い、地中はほぼ一定の温度である。夏は地中の相対的に低い温度であるので、その冷気を施設の冷房に使用することになる。冬はその反対に、相対的に地中は温かいので、暖気を施設に送ることとなる。

具体的には、右のような管を地中に58本通し中に水を通すことにより、熱の交換を行っている。これにより、通常の光熱費が40,000千円程度節約可能となり、耐用年数15~20年のうち、12年間運用できれば、設備投資の金額を回収することが可能となる。(ただし、再生エネルギー熱利用加速化支援対策補助金により、設備投資の半分補助を受けた場合である)



(まとめ)

再生可能エネルギーについては、太陽光を除き、まだまだ普及しているとは言い難い。

このような新エネルギーを使用している施設は全国的にも珍しいのではないかと思います、優良事例として紹介したいと思う。